大正十年十二月二十二日第三種郵便物認可　昭和十三年十一月二十七日　磐城新聞　【日曜日】　第五千三百八十五號　〔一〕

夕刊 磐城新聞
十一月二十六日發行
定價 一ヶ月 金六十五錢
發行所 磐城新聞
東京振替一〇六・五五八五番
〈日曜祭日翌日休刊〉

天氣豫報 小名濱測候所觀測
今晩も明日も北西の風晴

利彦を祝ふ(下)

高瀬勝男

利彦に勉强家だ。そして術激な悒鬱の幾日かを過し外に喰はねばならない生身である。勝男を知つてくれゐる、滑稽でさへある。職人は紅の如く消ね、偉張黄色い箱の自轉車委も鍋釜もれない、凋びた自重が、殆を背負つてゐるかねばならぬひかぶさる。なら研究に中積した生活の高邁は、息づく空氣を狹全部なのだ、彼の情熱はこめ、太陽は凡そにくむべき美術協議研究、新興藝術存在となる。この傷手を抱く理解と、勉强に小生いて利彦が得たよろこびに不彖を觀かなす剌戟し本當に利彦を祝へらる負い目の非力に一抹の淋しさがききつ。

藝術的霧囲氣に進歩を人達よ。情に勝毎日にこれが、彼我に約さ素晴しい發見を、たせめてもの希望だ。田舍てくれた、どんなにあす社會の展覧會に作品利彦に僞り良い勉强の目島を發表することはむづか知れない。人達がい、とてもいろいろな條件利彦現象評すべき、勝れるあるらしい、そして入選男利彦を、長兄として、はむづかしいことなのだ。尊敬て。だから利彦が獲た仕事はま十年の學校の教師であつづ地方的に祝ふべきだ。たとも作品に參じてその獨自らを現を心に印せられた當校の具象派の利彦か、今度の搬入作品を水彩にて入選を獲する。帝展に入るたとかとてもむづかしいのに無造作の仕事で、ゆうゆう世評を期する、すでにしてほむべき哉、お手柄なれば利彦を私に個人に推薦してはばからない。

利彦を祝つて。

搬入した今年の二科展に勝男が慘めにも落選した。この經驗は、苦杯をなめた

秋

村山俊太郎

お背戸は
おかるい　朝しぐれ
栗の林に
音がして
おちる栗のみ
拾ふ子ら
草をわけては
まだひろふ

知らないよ

高谷眞

朝はうれしい
ふところに
實はまろまろと
ふくれてる

ぽんと背中をたゝかれて
見れば知らない人でした
『おゝ、違つた』顔とその
人は
ざんぶり　しぶきあげました
友達と思つたんでしよか
弟と間違つたんでしよか
輕いぬき手で向ふ岸
笑つてこつち見てました
失敬失敬と言つてる様な
僕はうれしくなりました

獨居賦(二)

加納小郭家

○百合の芽の角ぐむ夕園のは艸ぬぎて思ひはつきず植ゑゆきし子に
○深谿の崖の紅葉の飛ぶ様は橋より見つつ身柱寒けれ
○鐵山の途上さいなまれ立てるぐみありき紅々と紛れし保さへ目に見ゆ
○支那農民に水害旱害誅求の他蝗害といふ天災のをを
○七十年後の租税とらるる支那の民を我は思ひ見つ病の閑に

講談

蔣介石(其の二)

珠雲 小野務平

蔣監誤謀徒淋民
東西逝竄一何頻
大言欺僞買嘲笑
四百餘洲無寄身

11月27日
△高橋是清最後の藏相就任(昭和九)
△郵便貯金利下げ閣議で正式決定(同一一)
△皇軍浙江省境を突破(同一二)

ひとくの前
○
うまく言へなければ默つて居れ　英國俚諺

隱密小天狗(おんみつこてんぐ)

(174) 中川雨之氏作 斉藤饑氏畫

ごまの蠅

彼の男は、ペコリと又叩頭をして、あたまを掻きながら、

『へゝゝゝあつしや。婆婆ツ小僧の富といふケチな野郎で——』

『何ッ、婆婆ツ小僧だと——變な名前だな、シテ、用事は何だ?』

『まことに、申しにくいことですが、ちよつとお人拂ひを願ひたいもので——』

富と名乘る男は、そばに居る女どもの顔をヂロ〳〵と見廻した。

女どもを皆追拂つて、加藤、熊谷の兩人は、婆婆ツ小僧と名乘る、得態の知れない男と、差向ひになつた。

『さあ、どういふ用事か、それを言へ』

と、熊谷が急き込む、と彼の男、それを尻目にかけて、ニヤリと凄い笑を漏らした。

『旦那、マアそんなにお急きなさらねエで、どうか一杯飲ませておくんなせえ。鼻の先で、熱燗の匂を、プン〳〵させられちや、堪らねえ』

手を伸ばすと、徳利と盃引き寄せ、二三杯立て〳〵、手酌でグイ〳〵引かけた。

『横着千萬な奴!』

と、熊谷は、拳を握つた

『ねえ旦那、あなた方は、上方へお越しでございますね』

『左様だ。それを聞いて、何とする』

『すると、明日は、箱根越でございますね』

『知れたことだ』

『お關所は、無事に通れますかね』

『なにッ! 無事に越せるも越せないも無いではないか病人を連れて、湯治へ行く我々、後暗いことは、少しも無いわ』

『さうでございますか。それは結構でございますね、へゝゝゝゝゝゝ』

氣味の惡い奴である。或いは、駕籠の中の秘密を知つて居るので無いか、と、二人は、ソツと眼を覗合つた。

『ねえ旦那、かう申しちや失禮でございますが、お武家さまといふもなあ、隨分血の廻りの惡いもんでございますね——イエ、お怒んなすつちや困ります、ホンの物の譬へなんで——』

『なんの、かんのと、煩さい奴だ。しぬけに、人の座敷へやつて來ていつたいどういふ用があるのだ』

熊谷は、もう喧嘩腰だ。加藤は默つて二人の問答を聽いて居る。

『ねえ、旦那。あなた方につ〜の商賣が分りますかね』

『そんなことは、どうでも宜い!』

『あつしやこれで、護摩の蠅でござんす』

『え。胡麻の蠅!』

二人も、これには、ちよつと驚いた。

『胡麻の蠅といふものは、人の懷を狙ふのが渡世。この旅人は、懷に、どれだけの金を持つて居るか、一ト目見てその胴の中をチヤンと見拔いてしまふのが、われ〳〵の腕なんで』

『それが、どうしたのだ、胡麻の蠅の講釋なんぞ、聞きたくない』

『だから、旦那方の駕籠の中も、どんな人が乘つて、ゐてその人がまつたく湯治場へ行く病人だか、どうだか、そんなこたあ、胡飯前か、ちやんと知つてゐるんだ』

懷から莨入を取出し、刀煙管で一ぷくやつて、ぷつと吹き出した煙りの中から、ちろつと眼を光らす不敵の面構へ。

駕籠の中を怪しいと睨んで、それを言ひ掴に、金を强請らうもする魂膽であることが、漸くはつきりして來た。

耳鼻咽喉科專門
醫學士 鈴木正男
平市田町(電話五八番) 磐田女學校前

齒科口腔外科
日本齒科醫學士 鈴木喜政
内郷村高坂 磐炭病院前
「入院のお需めに應ず」(看護婦及ビ見習看護婦募集)
鈴木醫院

皮膚科
泌尿器科
性病科
專門
診療時間 午前八時ヨリ午後九時マデ
平市田町
江尻醫院
電話六九一
醫學博士 江尻伊三郎
入院隨意

社員募集
年齢二十五才以上ノ者 二、三名
給料其他委細面談ノ上
常陽證券株式會社
平支店
平市三 電話七八四番

於全國清酒品評會
連續優等賞受領
銘酒 鶴仙
釀造元 平市 松吉屋酒造店

重田眼科
平驛前通り 元貯蓄銀行跡
眼科一般
眼鏡檢定
醫師 重田景治
平市田町一番地

上原家政婦會
平市紺屋町一一
會主產婆 上原通子
電話二二二番
產婆看護婦資格有者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

吸入用酸素 純度99%
度量衡
モノサシ
マス
ハカリ
計量器
体温器
寒暖計
秤ノ取締 垂糸・修繕致シマス。
關内藥局
電話四〇番

平市二丁目
尼子タクシー
電話六四〇番

ダイナモ
バツテリー
マグネツト
四氣筒六氣筒
礦山用エンヂン
久野電機
平市紺屋町五三
電話 七二一番
振替東京一五、一〇四番

●看護婦至急募集●
(委細面談)
高柳醫院

磐城の御みやげ品
名物 靈峰羊羹(みやま)(名産柿煉)
姉妹品
磐城耶馬溪……美山羊羹(みやま)
同 七濱……のり羊羹
同 豐間……辨天羊羹
◎各種 一本 十錢
製造發賣元 平屋賣店
小川郷驛前

銘木(床ノ間材)
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
織田材木商店へ
福島縣平市
電話平四六〇番
營業種目
建築木材一式
銘木・ベニヤ板
秋田産・杉四分板
建具材・便利瓦
◎小店員募集
年齢十五歳ヨリ廿歳迄
一變せる勉强振りを、ぜひ一度お試を乞ふ

食事
喫茶
酒場を兼ねた
レストラン サロン
平田町 電三五二

銃後の皆様におすゝめする
(糸イラズ)
綿布、綿糸、暴騰の折柄古き破れたる足袋、靴下メリヤス、ジヤケツ、其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひろく國家の經濟は莫大なものとなりませう。男子の方や御子様方でも容易に修繕出來まし糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい。
(定價二十錢 三十錢)
平市古鍛冶町一〇(縣社下)
阿康藥局
電話四四番
振替東京三〇〇六五番

耳鼻咽喉科專門
平市南町一六番地
(入院隨意 病室完備)
大和田醫院
電一七〇番

萬一實際の場合に 高所の消燈方法如何

防空訓練に 市內某官衙長体驗談

防空話題

從來數次の訓練を經た各家庭の燈火管制振りは今回の第二次防空演習によつて一段物の見事さを示し當局をして稍々『之れならば』の氣强さを感せしめて居るが、右は事前にその準備がある演習なるが故で一朝怖るべき現實に直面した場合屋內點燈の遮光等は第二とするもスヰッチ其他殊に消火の裝置を有せぬ公私各所のアーク燈等に就て果して完全な措置が施さるるや否や、時節柄極めて吃緊の研究事項たるを失はず此際電氣會社の一齊消燈以外適當の方法も無い樣に思はれるが昨二十五日市內某官衙長が適々某所に於て洩らした

『竹棹が屆く位な場所は突つき壞はす事も出來たが、それ以上高いのになると石を投げてそれが仲々的らなかつたり大騒ぎをした』云々

曾て某地に於て演習以上實際問題に近い場面に逢つた際の述懷は少くとも一同の深い關心を喚りお互地方民の『護れ大空』に新な研究問題として何らか當局の發動を促す因となつたではないかと觀られてゐる、因に同氏の談によると其地では之の體驗により直に各自若干の負擔をなして直に滅燈し得る裝置をなしこの欠陥を完全に除去したとの事である

盲生の避難演習

一糸亂れぬ訓練振りに 觀る人何れも感歎

今次の防空演習は、今迄に無い女性の動員によつて一段の多彩と緊張を見せ、各所に於ける訓練振りの熱心さ何れ劣らぬものあるが之もその一點景――この緊迫した演習期間中、身は假令不自由な盲人であつても斷じて晏如たるべきではないと奮起した市內磐城訓盲院男女生三十餘名は昨二十五日空襲の想定演習として警報傳達と共に大行李大風呂敷を携へた全校生徒が階上寄宿舍より庭前に避難し、假想負傷者に對して直ちに擔架を以て安全地帶に運搬避難せしめたなど一糸亂れざる訓練振りは見る人の目がしらを熱くさせた

學務部長來平

本演習第一日の今二十六日本縣和田學務部長　忽那工場課長は午後二時五十分で來平、地方の燈火管制並に各方面の訓練振りを視察され

。。。。。こゝ管制一惱み。。。。。

燈火管制總動員の折小名濱港內防波堤の突端にある港內燈台の管制には地元防護團員も一寸惱みの種た、ランプ式なので警報が出てこれを消しに小舟で出かけると何と四十分もかゝる始末、それと云つて出入船舶の重要な指針だけに消しつばな！も出來ず所轄平土木監督所でも之の電化に就てこれまた一と思案

第二校 作品出陳

平第二小學校では來月三、四の兩日福島市に開かれる福島縣書道振興會主催縣下兒童作品展覽會に左記兒童の作品を出陳

（一年）熊敎子、白土マリ子、山崎弘子、瀨下信子（二年）岡田郁枝、宮川尙子、海老原榮子、田卷佳代子、飯島榮子（三年）宍井美子、芹澤美佐子、高野光子、小野武子（四年）宮川幸子、齋藤英子、石川美子、佐々木辰子（五年）三井正子、高橋茂子、渡邊マサ子、橫山ケイ子、原貴美（六年）草野トシ子、鈴木智惠子、佐々木雅子、坂本雅子（高一）殿塚はつ、廣瀬義子、布施敏子、鈴木律子、西郡京子（高二）丹野アイ、和喜枝子、大岩チヨ子、小川トヨ子

防空訓練愈よ本舞台

市內たゞ演習一色 全戸に掲げよ合格証

前後五日間の基本訓練に『敵機來襲』の備へ全く整つた各地防空陣は愈よ今二十六日からの本演習を迎へて一入緊張、午前八時！演習開始と共に警戒管制に入るや各家庭は早くも『砂と水』を用意して萬事O・K。防空群、防護團、消防、何れも待機のうちに時は過ぎ正午迄には空襲警報に接しなかつた、斯くして午後の演習へ――

當局では今、明兩夜の管制狀況によつて既報『合格證』或は『模範管制證』を貼付する

基本訓練最終夜の昨二十五日は燈火管制は全般的に良好だつたが自動車並に歩行者の待避訓練には一部分遺憾の點もないではなかつたと

納稅デー 趣旨强調

市で準備に大童

平市の納稅デーは旣報計劃に基いて愈よ明後二十八日から一週間に亘り行はれるので市では明二十七日市內要所に納稅ポスターを貼付する一方各區長、組合長によつて納稅組合設置獎勵の印刷物を配布、更に實施事項を一般市民に周知する

週間第一日の二十八日は記念スタンプ押捺發送、各小學校に於ける納稅講話、映畫利用の宣傳の外午後一時からは市係員が各家庭を訪問、趣旨の徹底に努める

平は健康地だ

榮轉の千葉へ鹿島立つた 山崎前驛長禮讃の辭

平在勤二年八ヶ月、けふ榮轉の千葉へ鹿島立つた前驛長山崎花郎氏は昨日マルトモ・ホールに開かれた祖道の淸莚席上挨拶の一齣に自分は大下の玄關番を勤めてゐるうち平驛として二つの最高記錄をつくつた。絶後とは申されぬが一昨年の花ときに於ける列車の運轉回數とその乘降人員が從來の一萬六千から一躍二萬四千になつた事であると運般の目まぐるしい殷賑振りを說き、更に健康地と云はれる房總の千葉から來て今日再た千葉へ歸るのだが平住ひの三年足らずに六キロ餘体重が增したと健康地としての平を禮讃し出席した全平の子の氣を良くした

陣中を聽く

……………… (281) ………………

大過無きを得たは 偏に皆樣のおかげ

元平驛員 猪狩政友君（通信）

―お蔭樣で相變らずです、殊に漢口目睫と聞く此頃、愈よ元氣ですから他事乍ら御放念の程願ひ上げます。さて八月九日南京を去り津浦線のここに參りました當地は徐州戰後少し居つたので二度目です、以前と異り市內の大部分は侵水して居りましたが、現在では三米以上減水して居ります。徐州戰後一度全通した津浦線もこの淮河增水の爲め折角出來上つた假橋流失となり不通、現在では折返し運轉されて居ります。目渡す限り濁水だつた處も今では處々に地面を見せました。以前と異り多忙で最初のうちは日歸り位の處より船にて輸送でしたが八月三十日重要任務を帶び出發、半月にして無事歸隊致しました。其後二回三回と航航して居りますが、私は殘念乍ら最初だけ今は隊にて勤務して居ります、遡航百里の里程でした。二回の時東北健兒の名に恥ぢず、相當な活躍をされた由です。當地も涼しくなり未明頃夏衣では寒さを感ずる位です、併し日中は未だ／＼です。日本語小學校に通つて居る者も相當にあり途中にて會へば敬禮もし、少し位の會話も出來ます。この學校は吾々の舍の附近なので歌ふ聲も聞へます。製粉工場や倉庫等ある碼頭迄では驛より二粁餘ありますが專用線あり、各倉庫に引き込まれて居ります、時折列車か來ます。

野菜は大根、茄子、菜、ねぎ等あり甘藷も出ましたこの甘藷は土地の關係が不味です、果物は柿が盛りです、支那酒にて澁拔きをしたものです、落花生の新ものも販賣されて居ります。

御地も涼しくなつた事と存じます。二百十日前後の風水害に驚きました、御見舞申上ます。

中島幸太郎氏の悲報に接しました。如何に運命の神の惡戯とは云へ實に驚きました、御遺族の哀情如何程か戰地よりその冥福を祈つて居ります。

一年の間ですから色々と變つた事もある事と存じます。この長い間私も大過無く過ごした事は皆々樣の賜と深く感謝致します。

（◈）（◈）（◈）

中務職紹所長赴任

新設富岡職業紹介所長に拔擢された平紹介所主事補中務只獅氏は昨二十五日赴任した、富岡紹介所の陣容は所長以下（主事補）田口二八、早川竣通（雇）小野田宗一、佐藤圭

尙高木數衞、鴫原六郎、鈴木貞衞三氏は主事補となつて平紹介所勤務

赤誠は迸る

各方面の獻金美談

市內紺屋町第一五年生丸山久司君の母親スガさんは日用品を節約、二十六日篠山校長を經て金四圓二十錢を國防獻金

〇

神谷村佛敎和光會では國民精神總動員佛敎行事として近く同村本行寺住職高木錬誠師外三名により托鉢を行ひ銃後資金に寄附

〇

豐間村鹽屋町學友團女子組三十一名は橋本・鈴木兩正副團長が發起で六月以來小遣一錢づゝを醵出、一圓七十二錢を國防獻金

けふ防火デー

第一で歸宅演習

けふは防火デー、平消防組では旣報計劃を實施したが市內中小學校では夫々講話後避難演習を行ひ第一校では各校のトップを切つて空襲下に於ける學區別歸宅演習を行つた

。。。。。玉川農産品評會。。。。。

玉川村農産物品評會を二十五日から三日間小學校に開いたが出品百九十點、青山技師審査で左の如く入賞を決定、二十七日午後一時から賞狀授與式擧行

一等五　二等一五　三等二〇　四等五四

『俺は强盜前科男だ』

法華行者一さ暴れ

本縣飯坂町生れ法華行者田中吉江（四八）は五月末宮城刑務所を出獄後、門つけをやりながら郡內に入れ込み去る二十三日午後一時半頃市內磐城跡小學敎員某方の門口に立ちしきりに『ドコドン／＼』とやつたが相手にされぬのに憤慨、雜擗をつけて一と先づ立ち去り內鄕村木賃宿で燒酎二合をひつかけて同夜再び訪れ雨戶を叩きながら『俺は强盜の前科男だゾ』と脅迫してゐるところを急報によつて馳けつけた平署員によりそのまゝ留置場入り――

復た候搖れる

去る五日の大搖れ以來大小强弱の差こそあれ殆ど間斷無しの餘震に、地震は今や地方人の常識化され、此の事あつても別段驚かぬ迄になつてゐるばかりか、殊に防空演習で一同緊張し切つて居る折柄とて別に戶外に飛び出す程の狼狽は敢てしなかつたものの昨二十五日夕、恰も燈火管制に入つた間も無く突如襲來したのも相當大きかつた。

小名濱測候所の觀測によると震源地は鹽屋崎沖東北東四、五十キロで五時二十分から初期微動八秒、約十分間緩漫に續いたが性質は弱震、矢張り先達の餘震で新らしいものでは無い、云々

―昨夕の震源も鹽屋崎沖―

作山氏講演

福島縣敎育新聞社長作山美八氏は左記日割で總力戰の講演

（明年二月二十三日）江名、小名濱（二十四日）玉川、鹿島（二十五日）泉、渡邊（二十六日）湯本、磐崎

賽溜金を盜む

內鄕村小島中里才次方菓子職人永戶村生れ某（二〇）は今年三月から內鄕村綴字七反田菓子店大竹吉雄方の賽溜金を前後十數回に亘つて二百三圓を盜み、平署へ檢擧

入用

一、少年少女工場員

小學卒業程度市內居住のもの、來談あれ

磐城新聞社

。。。。。神谷新嘗祭式典。。。。。

神谷村では明二十七日午前十一時から鄕社出羽神社に新嘗祭式典擧行

。。。。。夏井國婦武運祈願。。。。。

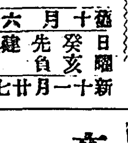
夏井村では國防婦人會では此程村內三神社に出征勇士の武運祈願

。。。。。近藤師範校長來平。。。。。

本縣師範學校々長近藤爲治氏は近く來平、市內各小學校視察

二十七日（小名濱測候所發表）　滿潮　前八、四五　後六、三五　干潮　前一、二五　後一、三五

二十八日　滿潮　前九、二五　後七、一五　干潮　前二、〇五　後二、三〇

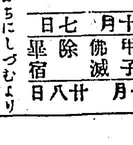


新曆十一月廿七日　日曜　癸亥　先負　建　昴宿

▲一白　他人の言を妄信するときは意外の失敗あり▲二黑　一に努力二にも努力々々は成功第一義たり▲三碧　身を守る事堅實なれば發展の氣きに入るべし▲四綠　進め勇氣充つれば矢玉の雨も恐るに足らず▲五黃　外事にのみ熱中するときは內は空虛となる▲六白　事業も都合よく運び行き願望も成就すべし▲七赤　勢に任せて妄進する時は脫線することあり▲八白　氣短かにあせれば成るべき事も破るゝに至る▲九紫　小故より意外の事變を惹起することある日

代理店　魁文堂

雲州神國印ソロバン　優勝印高級ソロバン　ニコ〜印高級ソロバン　ドンコ帳簿・ライカ帳簿　ウエル萬年筆　ライトインキ　ムツソリイニペン　ゼネラル・カーボン紙



舊曆十月七日　月曜　甲子　佛滅　除　畢宿　十一月廿八日

▲一白　迷ひのふちにしづむよりも氣を晴々と持つべし▲二黑　後るともつまづかざるやうに靜々と進むが勝ち▲三碧　生氣壯んなる日故に氣をそろへて勵むべし▲四綠　心靜かに萬全の策に向つて進めば吉日たり▲五黃　報ひ少くとも隱忍して時の來るを待つべし▲六白　油斷するときは意外の失敗を生ず注意肝要▲七赤　進むこと七分守ること三分たれば間違なし▲八白　乘出すべき氣運の見えて足の進まぬ日▲九紫　人の爲めに勞をしまざれば餘慶自から集る

廣告

安齋外科醫院　平市田町　電四七五番

移轉お知らせ
此度皆々樣の御勸めにより驛前通りコンパル向ひに移轉、開店致しましたから倍舊の御愛顧をお願ひ致します。
最中專門店　平市驛前通り　米屋

夜間診療
胃腸性病
內科　胃腸病科　花柳病科　性病科　皮膚科
專門
（見習看護婦募集）
松村胃腸性病科醫院（平市南町電一〇七番）

此度組織を會社に改め營業の充實を圖ると共に統制下にある吾等は國策に順應して御得意各位樣に精々御便宜を計らべく社員一同努力仕るべく候間倍舊の御引立を御願申上候、棒鐵、平鐵、しやふと鐵管各種レール、新品中古入荷仕り候間精々御注文相願度尙諸機械類各種取揃へ御來駕を御待申上候。　敬具
二大製鐵會社特約店
海軍工廠御用達
合資會社　平銅鐵機械商會
代表社員　井尻七三郎
平市鍛冶町九〔電話五二二番〕

榮養報國
溫イ飮ミモノ　輕イオ食事
御家庭の延長として安價實質豐富をモツトーに！
ランチ三五　カレーライス一五　コウヒー一〇
平市二丁目（警察通り）
マルサ

實株ハ買ツテ御手元へ
必ズ儲カル優良株
投資指針
平市四丁目三十三
富岡株式會社
電話二五八